

開口範囲を適正化し、不要な出入りを止めましょう。

冷凍冷蔵庫からの冷気漏れにより、冷凍機が過剰に運転していることがあります。

そこで、冷凍冷蔵庫の気密性を向上し、冷却漏れ等を防止することで、冷凍機の省エネを図ります。

対策例

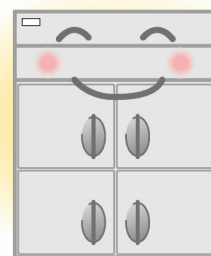
現 状

扉の不要な開閉や無駄な開口範囲があると冷気漏れが発生



改善対策実施後

扉の不要な開閉をなくし、開口範囲を適正化することで、冷気漏れをシャットアウト



省エネ対策のポイント

- ・気密性向上により断熱性も向上するため、より省エネ効果が高まります。
- ・また、気密性を向上させることで、外部からの汚染を防ぐこともできます。
- ・冷蔵庫のドアのパッキン損傷により気密性が損なわれるため注意が必要です。

参考資料

<冷蔵倉庫について>

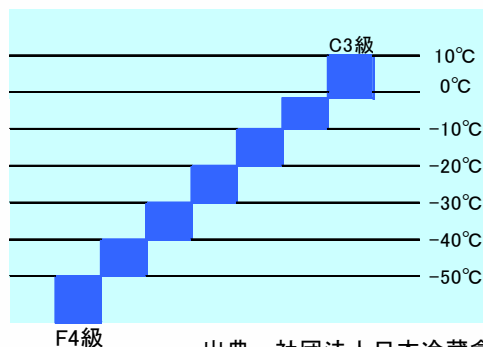
○冷蔵倉庫とは

水産物、畜産物、農産物、冷凍食品等の食品を中心に、その他の貨物も含めて保管温度帯10℃以下で保管・貯蔵することを目的とした倉庫のこと。倉庫業法では「倉庫業を営もうとする者は、国土交通大臣の行う登録を受けなければならない」と規定しています。この国土交通大臣の行う登録を受けた冷蔵倉庫を「営業冷蔵倉庫」といい、それ以外を「自家用冷蔵倉庫倉庫」といいます。

○保管温度帯について

保管温度帯により各階級が設定されています。

階級	保管温度帯
C3級	+10℃以下-2℃未満
C2級	-2℃以下-10℃未満
C1級	-10℃以下-20℃未満
F1級	-20℃以下-30℃未満
F2級	-30℃以下-40℃未満
F3級	-40℃以下-50℃未満
F4級	-50℃以下



出典：社団法人日本冷蔵倉庫協会HP